

**製品名: GIRK-1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe03997**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質を含む液体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:57 kDa;Observed MW: 57 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	KCNJ3
別名	G protein-activated inward rectifier potassium channel 1; GIRK-1; Inward rectifier K(+) channel Kir3.1; Potassium channel, inwardly rectifying subfamily J member 3; KCNJ3; GIRK1
遺伝子 ID	3760.0
SwissProt ID	P48549
免疫原	ヒト GIRK1 の合成ペプチド

**背景**

G タンパク質共役型内向き整流性カリウムチャンネル (KIR3.1 から KIR3.4) は、脳内の多数の神経伝達物質受容体と共役しており、嗅球、海馬、大脳新皮質、歯状回、小脳皮質、視床領域に豊富に発現しています。GIRK としても知られる KIR3 カリウムチャンネルは、ニューロンの細胞体、樹状突起、および軸索に局在します。G タンパク質ヘテロ三量体から遊離した G $\beta\gamma$  サブユニットは、KIR3 チャンネルに結合してその活性を制御します。Gb3 および Gb4 を含む G $\beta\gamma$  二量体は、KIR3 タンパク質の細胞質ドメインに直接結合して K<sup>+</sup> 電流を増加させ、Gb5 を含む G $\beta\gamma$  二量体は KIR3 K<sup>+</sup>電流を阻害します。KIR3 の活性は、チロシンリン酸化によっても阻害されます。脳由来神経栄養因子は受容体チロシンキナーゼ B を活性化し、これが KIR3 チロシン残基をリン酸化して、KIR3 チャンネルを効果的に不活性化します。

## 研究分野

## 画像データ

GIRK-1 抗体を使用した HeLa 溶解物中の GIRK-1 のウェスタン ブロット分析。

